

平成29年度 第44回生 卒業おめでとう



熊本県立人吉高等学校

五木分校ニュース

今年、男子4名、女子1名、計5名の卒業生を送り出すことになりました。
3年間よく学び、頑張ってきました。5名の今後の活躍に期待します！

卒業生の言葉

井上 雄大



先生方、三年間本当にお世話になりました。入学式の日、三年間頑張れるのか本当に不安でした。しかし、先生方のご指導のおかげで無事卒業することができました。私たちは幼稚園児のようで、大変ご心配、ご迷惑おかけしました。

勉強はあまりしませんでした。畑仕事など、生活していく上で大切なことを学ぶことができました。運動会や五文祭、修学旅行なども大切な思い出となりました。これからも先生方の期待に応えることができるように頑張っていきます。先生方もお体を大切にこれからも頑張ってください。いい先生方と出会えて楽しい高校生活を過ごすことができました。本当に三年間ありがとうございました。

田上 涼



自分が三年間を通して、強く思い出に残ったことは、保小中高合同運動会と二年に一度の五文祭、それに、熊本地震でのボランティア活動です。合同運動会では、高校生として園児・児童・生徒をリードして頑張ることができました。

二年に一度の文化祭は、1年と3年の時にありました。1年の時は、何が何だか分からないまま終わってしまいましたが、3年の時は、自分たちで計画したように上手く出来たので良かったです。最後の熊本地震のボランティア活動では、困っている人の役に少しは立てたので良かったです。三年間色々先生方に迷惑を掛けてすみませんでした。三年間、本当にお世話になりました。

卒業特別号
平成30年3月
編集発行
熊本県立人吉高等学校
五木分校



嶽本 龍之介



高校の三年間は月日が経つのが早く、あっという間に過ぎていったような気がしています。1年生の最初の頃は、高校に慣れることに自信

がありませんでしたが、同級生や先輩と仲良くなっていくうちに不安がなくなりました。2年生の時に修学旅行に行きました。初めて大阪へ行き、色々な経験をすることが出来ました。3年生になると進路について考えましたが、なかなか決まりませんでした。結局、地元就職することになりました。これからも五木で頑張っていこうと思います。三年間本当にお世話になりました。

森下 聖太



思い返せば、三年という月日は早かったです。一年生時は、新しいことの連続で何事にもチャレンジするという気持ちで生活しました。二年生となり、先輩としての立場や生徒会活

動も本格的に始まり、しっかりと考えて生活するようになりました。三年生では、進路先決めて悩みました。公務員試験に向けての勉強はとて大変でしたが、精一杯頑張りました。合格したときの嬉しさは今でも忘れません。そして、こんなにも充実した生活を送れたのは、一番に支えてくれた家族、授業やたくさんのご指導をしてくださった先生方、毎日のように一緒に過ごした友達のお陰だと思えます。これからは、いままで培ってきたことを職場で一生懸命出していきたいと思えます。皆さん本当にありがとうございました。

・ 栄里奈



三年間たくさんのお話を学び、思い出ができました。入学したとき、私のクラスは女子が一人だったので、三年間やっていけるのかとても不安でした。最初は不安だらけでした

が、少しずつ慣れとても楽しく過ごすことができるようになり、本当に良かったです。後輩や先生方と色々な楽しい話をする事ができて本当に嬉しかったです。体育大会では、カラーガードが一番の思い出です。覚えるのはすごく大変でしたが、本番では皆とそろえて頑張ることができたので良かったです。文化祭では、大風が揚がるか分からなかったけど、うまく飛ぶことができたので良かったです。先生方などにいろいろお世話になり、相談にのってもらったので頑張ることができたことも良かったです。

「壁」ぶつかった時がチャンスだ

校長 深水 裕一

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年間の高校生活を振り返ると、その感慨もひとしおのことと思います。皆さん一人ひとりが、五木分校での貴重な経験を自分の財産として、これからさらに活躍されることを心より願っています。皆さんは分校でかけがえのない友と出会い、そして尊敬できる先生にも出会ったと思います。人間関係は一生の宝物です。これまでの関係を温めつつも、新天地でも礼節をわきまえ、勤労に励み、進取の精神で新たな人間関係を築いてください。

卒業に当たり、私からメッセージを贈ります。「壁」というのは、超えられる可能性がある人にしかやって来ない。だから、壁がある時はチャンスだと思っている。「これはイチロー選手の言葉です。皆さんは、分校を卒業し厳しい社会に旅立ちます。これから色々なことに悩み・迷い・苦しむことがあるでしょう。そして、大きな壁が立ちふさがっていると感じる時が来ると思います。そんな時、この言葉を思い出してください。果敢に壁にぶつかり、壁を乗り越え、成長して欲しいと思います。最後に、卒業後も同窓生の一員として、いつまでも分校を愛し、後輩たちにエールを送り続けてください。皆さんの健闘を祈ります。

「自分らしく頑張れ」

副校長 永演 秀明

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、これまでお子様に寄り添い、支え続けられてこられました保護者の皆様には、深く敬意を表すとともに、心よりお喜び申し上げます。さて、皆さんは少ない人数ながらも、五木分校の三年間の日々の活動やいろいろな学校行事に前向きに積極的に取り組んできました。共に協力し合いながら、笑いあい、励まし合い、喜び合いながら過ごしてきました。いつも一緒に頑張りました。そして自分がまかされた役割では自分らしく仲間をリードしてきたと思います。

仲間と過ごした高校三年間の経験は、皆さんの将来を切り開く力となる貴重な財産です。仲間の存在を励みに、今までやってきた自分を信じて、それぞれが、新しい土地で新しい取組みにチャレンジしていつてくれることを祈っています。

いよいよ卒業すると、皆さんは新しい世界で、新しい仲間と社会生活を送ることになります。五木分校の仲間と出会い、頑張れたように、これからは新しい仕事仲間と協力し合いながら、仕事や自分の生活を充実させて欲しいと思います。最初はいろいろな事に戸惑いもあると思いますが、自分らしさを失わずに何事にも物おしせず頑張れ！皆さんの活躍を祈っています。

「卒業生へ」

教頭 山本 誠一

井上雄大君、田上涼君、嶽本龍之介君、森下聖太君、栄里奈さん卒業おめでとう。三年間の五木分校での生活を終え、今、どんな気持ちでしょう。

美しい自然と立派な校舎。おいしい空気とおいしい水。そして何となくも君たちにはかけがえのない素晴らしい仲間がいました。

運動会や文化祭、修学旅行や長距離走大会など楽しい思い出がたくさんできたことでしょう。全体的に思い出が色あせることなく永遠に輝き続けることだと思います。

君たちは勉強、部活動、生徒会行事、あるいはボランティア活動や家の手伝いと本当によく頑張りました。素晴らしいと思います。

君たちの頑張る姿を見て、私はいつも感心していました。幾度となく涙がこぼれました。感動をありがとう。

君たちが三年間頑張ることができたのは、家族の支えがあったからです。そのことを絶対に忘れないでください。感謝の気持ちを持ち続けることが恩返しにもなります。

長い人生、これから先も辛いことや悲しいことがたくさんあると思います。そんな時は五木分校の仲間を思い出して乗り越えてほしいと思います。五木分校はいつまでも君たちを見守っています。

「御卒業おめでとうございませう」

主任事務長 永田 稔

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございませう。また、保護者の皆様におかれましては、お子様の御卒業を心よりお喜び申し上げます。さて、皆さんは五木分校での高校生活はいかがでしたか。改めて、いろいろな思い出が、心の中に浮かんでいるのではないのでしょうか。

卒業という日を迎えるにあたって、皆さんは、保護者の方をはじめ、諸先生方、地域の方々、同級生、先輩や後輩など様々な方々が、時には優しく、時には厳しく、接してこられました。このことは、皆さんの健やかな成長を願ったことだと思えます。この皆さんの思いや支えに感謝し、今後は、皆さんの頑張っている姿や成長した姿を見ることができて、恩返しをしていっていただきたいと思います。

また、皆さんは、これからのいろいろな人と出会い、いろいろな体験をすることだと思います。どんな時でも笑顔や挨拶を絶やさず、また、周りの人に感謝しながら、自分の夢や目標の実現のために挑戦を続けてください。今後の皆さんのますますの御発展を祈念いたします。

北崎 仁(三年担任・数学)

皆さんと過ごした三年間は、今となつては短く感じています。入学したばかりの頃は、お互いに緊張していたこともあり、少しはおとなしくしていましたね(多分)。しかし、早くも慣れてくると、実力を発揮してきました。「騒々しい」「人の言うことを聞かない」「考えて行動しない」「勉強しない」など、目の前にいるのが本当に高校生かと疑問を持つほどでした。それでも二年生になると、生徒会活動や部活動を中心となって頑張るようになって少成長しました。そして三年になり、進路を決める過程においてさらに成長していく姿が見られました。しかし、社会人としてやっていくにはまだまだ不安があります。これから先、未熟な故に様々な試練や困難があるかもしれません。そんなときは、皆さんが持っている、明るさ・元氣・行動力などを活かして乗り越えて欲しいと思います。定年近くの年齢になって皆さんに会えたことに感謝しつつ、卒業おめでとう。

佐藤 喜美(三年副担任・国語・芸術)

卒業おめでとうございます！
とうとう、卒業を迎えることになりましたね。当初から自由奔放で不安な面もたくさんありましたが、学年が上がるにつれて徐々に高校生としての自覚が見え始め、最近では少し落ち着いてきたなあと感じていた矢先の卒業です。
この五木分校は、他の高校では経験できないような様々なことを学ぶことができます。それは皆さんにとって、本当に貴重な財産です。分校での経験を土台として、社会に出て多くの人と出会い、そこで様々なことを学んで更に成長して欲しい。最後に「何事もすぐ諦めない！」、自分からアクションを起こす。皆さんの活躍を願っています。

緒方 悠吾(国語)

卒業おめでとうございます。卒業後には様々なことが君たちを待ち受けていることでしょう。でも、君たちならきっと大丈夫。この五木分校で培った様々なことを糧にして、多くのことを経験してください。運命とは選択である！君たちのこれからの旅路に幸多からんことを一生きて、生きて、粋になれ！！

高村 幹人(地歴・公民)

前途には、思いもよらぬことが起こるだろうが、自分の将来、自分の進む道は、自分で決めなければならない。どんな人生を歩むか、自分で考え、行動するしかない。謙虚に助言や助力を求めるとも必要かも。頑張らんばんばい。

樽口 秀典(理科)

卒業おめでとうございます。社会人として働く皆さんに一言贈ります。上司や先輩方に仕事の内容ややり方を習うはずですが、わからないことは遠慮なく聞きましょう。仕事の要領を早く憶えるだけではない、事故の防止にもつながると思います。

竹永 大(保健体育)

卒業おめでとう！たった一度きりの人生、悔いなく楽しんでください。精一杯働いたら、精一杯遊びましょう。何事もバランスが大切です。

西岡 泰伸(英語)

君たちの学年は、それまでの分校生達とは随分違う雰囲気を持ったクラスでした。有り余る元気に、一時間の授業での私の疲労度はかなりのものでした。それが、学年が上がることにより少しずつ落ち着きを増し、こちらも安心して教室に向かうことができるようになりました。今となつては、楽しい思い出となっています。社会に出てからも、明るく、元気に頑張ってください。応援しています。

中神 奈子(家庭)

卒業おめでとうございます。ユーモアたっぷりのみんなとの授業はとても楽しかったです。今後も色々なことに楽しむ心を持って挑戦し続けてください。一年間ありがとうございました。

永川 奈々(養護教諭)

卒業おめでとうございます。この高校生活の中で皆さんが出会った友人や皆さんを支えてくれた人々との絆、たくさんの思い出や学んだことを胸に新しい世界に羽ばたいていってください！自分を大切に、何事にも全力で前向きに！

高橋 遼(事務)

卒業おめでとうございます。四月より皆さんの元気な姿を見れなくなると思うと残念ですが、五木分校で過ごした三年間を胸に、それぞれの道で輝いてくれることを願っています。仕事でつらいことがあったらいつでもボクシングに付き合います。これからも楽しく、前向きに頑張ってください。シュッシュッ！

井元 恵美(技師)

卒業おめでとうございます。約一年と短い期間ではありましたが、畑作業や文化祭の風作りなどで時間を共有することができた良い思い出となりました。いつも賑やかで元気いっぱいみなさん。教室の前を通った時の笑い声が聞けなくなると思うと寂しくなります。春からは新しい生活が始まり環境が変わり不安になる事もあると思いますが、高校生活で培ったことを活かしてこれからも頑張ってください。みなさんのご活躍を心からお祈りします。

Blain Cox (ALT)

Yudai, Ryo, Ryunosuke, Shota, and Erina:

The school is now much quieter without you. I always enjoyed our English classes. You were always willing to try and we had fun. Please keep trying new things and do everything that you want to do in life. Don't give up on your dreams. I hope you keep learning and say hello if you see me in the future.

(日本語訳)

雄大、涼、龍之介、聖太、栄里奈へ

君たちがいなくなった今、学校はずっと静かになりました。みんなとの授業はいつも楽しい時間でした。みんなはいつも意欲的に授業に参加してくれて、一緒に楽しく過ごすことができました。新しいことに挑戦を続け、何でもやりたいことをやってみてください。夢をあきらめてはいけません。これからも勉強を続け、いつかどこかで会うことがあったら声をかけてください。